

はじめに

福山市は、瀬戸内海のほぼ中央に位置し、陸と海の交通に恵まれた立地を背景に、古代より瀬戸内海地域の政治・経済・文化の中心となり、現代に至るまで連綿と豊かな歴史文化が受け継がれてきたまちです。その証として、国宝明王院本堂・五重塔、江戸期の町並みが色濃く残る鞆の浦、福山の礎となった福山城など、まちのシンボルともいえる文化財が数多く残されています。また、このような本市を代表する文化財の他にも、市民の皆様により大切に守り、受け継がれてきた文化財も数多くあります。

しかし、このように大切に受け継がれてきた文化財も、少子高齢化による担い手の減少や開発工事の増加などの社会情勢の変化により、急激に姿を消していつている現状があります。また、その一方で、文化財は教育や生涯学習、観光、地域活性化など様々な場面で活用され、その多様な価値が見直されています。

本構想は、こうした状況を踏まえ、本市で受け継がれている文化財を確実に保存し、適切に活用するとともに、歴史文化を活かしたまちづくりを市民の皆様とともに推進するための基本方針をまとめたものです。

市民の皆様が大切に受け継いできた文化財の魅力を再発見し、そして歴史文化を通じた様々な活動の中で、未来のまちづくりを担う「人づくり」を目的に掲げ、取組を進めてまいります。

本市は2016年（平成28年）7月1日に市制施行100周年を迎えました。本構想をもとに、先人が残した豊かな歴史文化を次世代に確実に受け継ぐとともに、本市の新たな歴史文化を市民の皆様とともに築きあげていくことができれば幸いです。

最後になりましたが、本構想策定に御尽力いただきました福山市歴史文化基本構想策定委員の皆様をはじめ、ご指導いただきました文化庁文化財部伝統文化課、広島県教育委員会及び関係者のほか、多くの市民の皆様に心から感謝申し上げます。

2018年（平成30年）3月

福山市教育委員会
教育長 三好 雅章